

わが校のストップいじめアクションプラン

～いじめの未然防止、早期発見・早期対応～

甲賀市立伴谷東小学校。

目指す学校

いじめをしない、させない、見逃さない学校

子どものアクション

○いじめを許さない、明るく楽しい、居心地のよい学校・学級づくりを進める

- ・「クラス会議」を開催し、認め合い支え合える関係性を築く。
- ・「学級タイム」の計画などの話し合い活動を通して、友だちの気持ちについて考える。

○児童会活動によるいじめ根絶運動を推進する

- ・標語や作文を募集し、全校児童に紹介する。
- ・寸劇等により、いじめ根絶を発信する。

○周りの人を信頼し、困ったときには助け合える人間関係を作る

- ・悩んだ時や困った時は、一人で抱え込まず誰かに相談する。

家庭や地域と連携したアクション

- ・PTAの集会で、「わが校のストップいじめアクションプラン」を説明する。
- ・児童が作った標語や作文等を各家庭に配布する。
- ・地域の人材を活用し、地域での児童の様子について話してもらう機会を設定する。
- ・いじめに関するPTA研修会を開催する。
- ・保護者対象の学校評価アンケートでいじめに関する調査項目を充実させる。
- ・家庭に「SOS早期発見チェックリスト」を配布し、地域ぐるみで「子どもを見守る週間」等の取組を推進する。

教職員のアクション

○「いじめを絶対に許さない」学校づくりに向けての共通理解・共通実践を進める

- ・「いじめを絶対に許さない。いじめられている人を守り通す」ことを継続的に発信する。
- ・いじめの問題に対する意識や実践力を高めるための研修機会を積極的に増やす。

○子どものSOSを見逃さない（早期発見）

- ・休み時間、昼食時、放課後等において、子どもとふれあい、信頼関係の構築に努める。
- ・「学校全体で子どもを教育する」組織的な教育相談体制を充実させる。

○いじめがあることを前提に、主体的にいじめを掘り起こす

- ・いじめの掘り起こしにつながるアンケートを年2回実施し、教育相談に生かす。
- ・「いじめ対策委員会」を常設し、組織的に取り組む。

現状（課題）

- ・身近で不合理な出来事が起こっても、解決に向けて行動できる子どもは限られている。
- ・子どもの状況を的確に把握できるよう、常に教職員の感性を磨き続ける必要がある。
- ・家庭では「我が子さえ」という意識もあり、地域ぐるみの取組にまで至っていない。